

## 日本学術会議 法学委員会 セーフティネットと法分科会（第25期・第9回）議事要旨

開催日時： 2023年3月13日（月）15時00分～16時10分

開催場所： オンライン（Zoom会議）

出席者： 和田肇・秋元美世・有田謙司・魚住明代・小澤隆一・笠井修・川嶋四郎・豊島明子・内藤忍・糠塚康江・廣瀬真理子・本庄武・丸谷浩介・山田八千子

欠席者： 岩永理恵・片桐由喜・亀本洋・只野雅人・橋本祐子・矢野昌浩（敬称略）

### 議事要旨

#### 1. 分科会提出「見解案」の査読のその後の進捗状況

和田委員長より、本分科会から提出した「見解案」の査読のその後の進捗状況について、現時点では不明である旨の報告がなされ、進捗状況については事務局に問い合わせれば分かるのではないかと意見が出された。

#### 2. 「見解案」のフォローアップ（今後の展開）

和田委員長より、「見解案」のフォローアップとして何を行うかについて、資料に基づき、①「学術の動向」へいくつかの論文を掲載する、②「意見の表出」を補足する資料である「記録」として補充する、③何もしない、との3案が提案された。これらを審議する中で、「見解」に基づきシンポジウムを開催してはどうかとの意見が出され、審議の結果、7～8月頃にシンポジウムを開催する方向で進めることとした。なお、シンポジウムの詳細については、後日、メール審議で決めていくこととした。

#### 3. 2023年度前期の計画

和田委員長より、現在の第25期が終了する9月までの活動計画について、第26期に向けた基礎的な検討として、「全世代型社会保障改革の分析と提言」、「社会的セーフティネットの拡充」の2つのテーマに取り組むことが提案された。これについて審議した結果、6～7月頃に分科会を1回開催し、2名ほどの委員に報告をしてもらい、問題点の整理を行うことが確認された。

以上